

第32回シンポジウム

『日本社会におけるリスク学的发展と定着に向けて～リスク学事典発刊を記念して』

新しいリスクの台頭

岸本充生 (KISHIMOTO Atsuo)

大阪大学データビリティフロンティア機構

Institute for Datability Science, Osaka University

エマージングリスク

Emerging (=new & increasing) : 新興、萌芽的

発生源、すなわち脅威や
ハザードが新たに生ま
れる／認識される場合

低頻度災害の認知(太陽フレア、カルデラ噴火、
小惑星衝突)、ハザードや曝露の発見(アクリル
アミド)、新規技術イノベーション(ドローン、AI、
自動運転、合成生物学、ゲノム編集、ロボット)、
そして悪意

QOL(生活の質)の配慮、生態系保全、
各種ハラスメント、プライバシー侵害、
人権侵害、不平等、衡平性

人々の考え方が変化
することにより新たなリ
スクになる場合

社会の側が変化することでリ
スクが新たに発生する場合

人口増加による居住地変化(液状化、土砂災
害)、生活習慣の変化(夜間労働)、自然起因
の産業事故(Natech)、グローバル化、ICT化

リスク = f(ハザード 曝露 資産)
脅威 帰結

やってくるもの

媒介

守りたいもの



どれが変化しても
エマージングリスクが生まれる！

新しい脅威

物理的・化学的・
生物的攻撃



サイバー攻撃

フェイクニュース、
フェイク動画

リスク学は**悪意**をどう扱うか？

新しい価値(守りたいもの)

倫理的法的社会的課題(ELSI)

Ethical, Legal and Societal Issues

プライバシー

個人の尊厳

差別や社会的排除

世代内公平

民主主義

フェイクニュース、AIによる決定

世代間衡平

自己決定原理

フィルターバブル、エコーチャンバー

風評

個人の自律

プロファイリング

エマージングリスク対応の課題

- どうやってエマージングリスクを早期に発見するか？
- エマージングリスクの早期発見努力を制度化できるか？
- 早期発見したリスクに対処できるか？（何も起こっていない事象を規制できるか？）
- 対処する／しないを分ける基準を作れるか？
- もし対処が成功した場合、「起きなかったこと」をどうやって認識するか？
- Withoutシナリオ（反実仮想）をつくる訓練が必要